

郷黨の先輩工藤次官を迎ふ

さくらと古城の街で知られた郷黨に對しても言を左右し、問題
 弘前市出身、政友會代議士工藤の核心に觸れることを避けて
 十三歳と八年ぶりで、面も思ふが、情實に動かされず、信念
 ひがけないとこで送り、お國に向つて邁進する氏は、僅か四
 ナマリを擧げて一入なつかしき時間余の視察ではあつたが透徹
 を免れた、工藤さんの知遇を受けた推測に依つて一切を判断し
 けたのは筆者が時事新報弘前通國富の開發と地方民多數の福利
 信部主任として在任中の昭和六を増進させるため、吾等二十三
 年一月から、同平道信部主任へ万郡市民の要望に添ふ路線の設
 轉任まで滿一年半、朝日新聞政
 治部長から政界に入つた工藤さ
 んは當時日刊弘前新聞社長であ
 り、時事新報社が弘前へ通信を
 囑託してゐた關係と、ニュース
 マシの経験を有つてゐる点で新
 聞記者には特に理解を以つて接
 してゐたやうである

政争激波の青森縣第二區に地
 盤を据へ代議士當選六回、縣民
 の信望を一身にあつめ、會つて
 落伍の経験を知らない事實が工
 藤さんの高潔な人格を如實に物
 語つてゐる、今をときめく鐵道
 政務次官に任官しながら、八年
 ぶりで迎へた工藤さんの態度は
 お國ナマリをそのまゝ、昔と少
 しも變つてゐなかつたのも嬉し
 かつた、郷里青森縣出身の政治
 家で大隈の椅子を占めた先人は
 一名も無く、政務次官は前厚生
 省政務次官(民政黨)工藤鐵男氏
 と僅かに二人目で、それだけ工
 藤さんに對する縣民の期待は大
 きい、次官の金ピカで錦飾り
 歸郷するの目を郷黨が驚かして
 ゐると云ふのに、就任以來政務
 に追はれ一回も歸郷せず「十五
 日にやつと弘前へ歸れるやうだ
 」と述懐してゐるところなども
 謙直な工藤さんの一面が窺はれ
 る。

野澤 武藏

通融低利 年無蓋 社會盡無信用本湯 番七四話電

御料理 むぎとろ 出前迅速 平市紅小路電四八八

債券・公債 兩替・金融 多田井質店 平市大工町電五九一

宮内省、陸海軍省御用品

栄養元 定價 十二錢 二十錢 四十錢 六十錢

事變下の今日國民地位の向上は國威發揚の重大要素であ
 ります、今回新發賣の「榮養元」は特に此の点につき多
 年研究の結果、昆布、ハイガイ其他の有効成分のみを
 獨特の製法により精製したる理想的榮養國民食糧であ
 ります。

海陸物産委託問屋 安 安孫子才三郎 平榮養元販賣店

昔昔 その昔 御料理 加賀百萬石のお膳様が 寄田の肴を刈取らせ

債券・株式・現物賣買 常陽證券株式會社 平支店 電話七八四番

優等賞受領 登録商標 稻萬歳 稻妻 古川酒造店吟醸

鑄物の代用品生る セメント製マンホール 金貳圓の各種 同 風窓網 金四子蓋の各種 平市南町二〇

野内商會 發賣元 燒土管 在庫豊富 電話一一番

家政婦 各御家庭向きの會員を 急派致します。 會員募集

磐城家政婦會 平市五丁目 産婆 猪狩かく方 電話四九一番

産科・婦人科 井坂醫院 平市田町 入院隨時 電話五五九番

内臓外科 北川外科 醫學博士 北川芳夫 平市新川町(電四六四)

高久病院 平市田町(電話五二二番) 院長 高久忠 副院長 赤羽清 藥局長 佐竹菊雄

婦人藥王 辨天湯 主治 子宮病・血の道・ヒステリー・産前産 後の諸症・逆上・頭痛眩暈・手足腰の 効能 冷込み・こしけ・月經不順……等 調劑本舖 小野屋藥局 平・四丁目 電話百四十四番

母々キ儀風邪にて療養罷在候 處本月三日午後九時三十分藥 石効無く死去致候間此段御通 知申上候 追而葬送の儀は四月六日午後一時自宅出棺 天理教墓地に於て告別式相済可申候 四月四日 親戚總代 三井文吉 三井榮一 三井廣吉 三井富吉 三井口富 三井ク